

## 下水道事業の経費回収率向上に向けたロードマップ

### 1. 経営計画の検証について

令和3年12月に策定した「守山市公共下水道事業第9期経営計画（経営戦略）（以下「第9期経営計画」という。）」（計画期間：令和4年度から令和13年度まで）について、中間年度における検証・見直しを令和7年度から令和8年度にかけて実施している。今回の検証では、物価高騰に伴う事業費の増加や滋賀県の流域下水道事業維持管理負担金単価の改定などを踏まえ、財政計画を中心に見直しを行った。

### 2. 検証結果

#### (1) 財政計画

- 営業収益：堅調な使用料収益を中心に概ね計画通りとなる見込み。
- 営業費用：県の流域下水道維持管理負担金単価の増額改定、その他労務費、燃料費等の物価高騰の影響で計画値を上回る見込み。
- 営業外収益：長期前受金戻入の減少等に伴い、計画値を下回る見込み。
- 営業外費用：昨今の金利情勢の影響で増加。
- 収支差引：支出増加の影響により、令和8年度から赤字が見込まれる。
- 検証の結果、下水道使用料収入を中心に収入は堅調に推移するものの、昨今の労務費・物価・金利等の高騰、県の流域下水道維持管理負担金単価の引上げに伴う負担金の増加により、収支は赤字が見込まれる厳しいものとなった。また、将来的には人口減少や節水器具の普及に伴う水需要の低下により、下水道使用料収入の減少も予想されるため、収入増加と支出削減の両面での取組が必要である。

| 当初計画  |           |           |           |           |           |           |           | 検証後見直し    |           |           |           |           |           |           |           |           |           |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|       |           | 税抜 単位：千円  |           |           |           |           |           |           |           | 税抜 単位：千円  |           |           |           |           |           |           |           |
|       |           | R8        | R9        | R10       | R11       | R12       | R13       |           |           | R8        | R9        | R10       | R11       | R12       | R13       |           |           |
| 収益的収支 | 収入        | 営業収益      | 1,608,536 | 1,610,345 | 1,604,516 | 1,617,913 | 1,600,714 | 1,601,023 | 収益的収支     | 収入        | 営業収益      | 1,601,800 | 1,605,493 | 1,601,429 | 1,601,351 | 1,600,533 | 1,602,170 |
|       |           | 営業外収益     | 549,815   | 549,696   | 557,353   | 553,244   | 572,884   | 547,558   |           |           | 営業外収益     | 545,515   | 539,011   | 547,836   | 541,971   | 546,027   | 562,801   |
|       |           | 特別利益      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |           |           | 特別利益      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|       |           | 合計        | 2,158,351 | 2,160,041 | 2,161,869 | 2,171,157 | 2,173,597 | 2,148,582 |           |           | 合計        | 2,147,315 | 2,144,504 | 2,149,266 | 2,143,323 | 2,146,560 | 2,164,972 |
|       | 支出        | 営業費用      | 2,019,288 | 2,021,139 | 2,045,686 | 2,057,140 | 2,089,504 | 2,045,143 |           | 支出        | 営業費用      | 2,185,188 | 2,186,170 | 2,289,809 | 2,288,256 | 2,317,644 | 2,334,695 |
|       |           | 営業外費用     | 110,833   | 98,188    | 87,753    | 78,886    | 72,093    | 66,521    |           |           | 営業外費用     | 115,582   | 124,163   | 132,182   | 140,993   | 143,997   | 150,307   |
|       |           | 特別損失      | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |           |           | 特別損失      | 74,545    | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
|       |           | 予備費       | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |           |           | 予備費       | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 合計    | 2,130,121 | 2,119,327 | 2,133,439 | 2,136,026 | 2,161,597 | 2,111,664 | 合計        | 2,375,315 | 2,310,333 | 2,421,991 | 2,429,249 | 2,461,641 | 2,485,002 |           |           |           |           |
| 収支差引  | 28,230    | 40,714    | 28,430    | 35,131    | 12,000    | 36,918    | 収支差引      | ▲227,999  | ▲165,829  | ▲272,725  | ▲285,926  | ▲315,081  | ▲320,030  |           |           |           |           |

## (2) 主な経営指標の目標

### ●経常収支比率

赤字が見込まれる令和 8 年度、令和 13 年度ともに望ましい数値である 100%を下回る見込み。

### ●企業債残高対事業規模比率

企業債償還が進むため、計画値は上回るものの数値は改善していく見込み。

### ●経費回収率

金利上昇による支払利息の増加や流域下水道維持管理負担金単価の増額改定による維持管理負担金額の増加を主要因として、望ましい数値である 100%を下回る見込み。

### ●有形固定資産減価償却率

老朽化は進むもののストックマネジメント計画に基づく事業等の推進により、概ね計画通りに推移する見込み。

### ●流動比率

企業債償還が進み、1 年以内に支払うべき債務が減少するものの、現金預金残高が計画値を下回る見込みのため、令和 13 年度の流動比率は計画値を下回る見込み。

| 当初計画             |              |        |         |         | 検証後見通し |        |
|------------------|--------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 項目               | 望ましい<br>数値   | R2     | R8      | R13     | R8     | R13    |
| 経常収支比率           | 100%以上       | 100.9% | 101%以上  | 101%以上  | 93.3%  | 87.1%  |
| 企業債残高対<br>事業規模比率 | ↓            | 854.3% | 570%以下  | 380%以下  | 598.6% | 471.5% |
| 経費回収率            | 100%以上       | 100.6% | 100%以上  | 100%以上  | 99.1%  | 98.1%  |
| 有形固定資産減価償却率      | —            | 43.7%  | 54%以下   | 60%以下   | 52.4%  | 60.1%  |
| (老朽化対策を実施しない場合)  |              |        | (54.2%) | (62.6%) |        |        |
| 流動比率             | 100~<br>200% | 38.8%  | 60%以上   | 150%以上  | 64.2%  | 106.3% |

### 3. 具体的な取組および実施時期

#### (1) 収入増加のための具体的な取組および実施時期

##### ① 下水道使用料の適正化

第9期経営計画策定時には計画期間中（令和4年度～令和13年度）の下水道使用料水準は維持する方針としていた。

しかしながら、今回の検証の結果、汚水処理原価が当初想定を上回って推移することから経費回収率が悪化し、収益的収支が継続的に赤字となる見通しである。そのため、収益的収支の改善を目的として、第9期経営計画後期期間中（令和8年度から令和13年度）に流域下水道維持管理負担金の単価増影響額相当分の下水道使用料改定が必要となる見込みである。

##### ② 収納率の維持

本市の下水道使用料の収納率は99.9%（令和7年度実績）となっているが、使用者の負担の公平性の確保と下水道事業の財源を確保するため、継続して滞納徴収の取組を行う必要がある。

現在も下水道使用料収納業務は民間委託を行っており、委託業者との綿密な連携を図るとともに、滞納者へは催告書の送付、電話催告、個別訪問等を実施し計画的な支払いを促す。また改善が見込めない悪質な滞納者に対しては差し押さえにより債権を回収するなど、引き続き未収金の減少に努める。

#### (2) 支出削減のための具体的な取組および実施時期

##### ① 広域化・共同化・最適化の推進

令和3年度末をもって農業集落排水施設の公共下水道への接続替えが完了し、市内での事業は一段落を迎えたものの、県全体の取組として、「滋賀県汚水処理事業広域化・共同化研究会」における維持管理効率化や、会計システムの県内市町共同化によるランニングコストの削減など、最終的に守山市の事業費削減につながる取組の実施に向けて、県内市町や県の関係部局とともに連携・協力を図る。

##### ② 民間のノウハウ等の活用

限られた財源と職員の中で、民間のノウハウを活用し、効率的・効果的な業務の遂行体制を整備しており、下水道処理場施設の速野ポンプ場等の維持管理業務や窓口・受付業務、下水道使用料収納業務等を引き続き民間委託で実施する。さらに人口減少、施設の老朽化、職員不足等の課題に対応するため国土交通省で推進されている水の官民連携（ウォーターPPP）についても、令和12年度以降の導入を目指し

て令和8年度より事前検討を進めている。また、委託形態の見直しや発注方法の見直しなど最適な手法を検討する。

#### 4. 定期的な検証および見直し、進捗管理

【第9期経営計画の進捗管理体制】

